

建設部会が研修会を開催

～2024年問題への対策を考える～

建設部会（部会長：坂根功一(株)坂根工務店代表取締役）は、4月から適用される建設業の「働き方改革関連法」への対策を考えるための研修会を3月15日に開催し、18人が参加しました。

建設業の2024年問題は、法律によって従業員の働く時間が制限されることで、会社は現場に人を送れず「工期限内に工事が完了できない」ことや、割増賃金等人件費の負担増により、「利益が確保できない」おそれがあることです。

講師の京都府よろず支援拠点の森川茂樹氏（社会保険労務士・中小企業診断士）からは、労働時間の上限や守れない場合の罰則規定などの基本的な説明とともに、問題への対策として、36協定や日々の勤怠管理、現場への移動時間の見直し方法等に加え、より踏み込んだ対策として、「変形労働時間制の採用」やシステム

導入、ICT化による「労働の効率化」のほか、「賃金の決定方法」など人手確保のための効果的な手段についても説明いただきました。終了後の交流会でも、労働時間や人手確保などの課題に対する声が多くあり、今後も部会では、よろず支援拠点と連携し、個別で相談に応じ、対策を考えていくことで進めていきます。



働き方改革について説明を受ける
(3月15日:舞鶴グランドホテル)

環境サービス・機械金属・製造部会

3部会合同研修会を開催

～これからのまちづくりについて考える～

環境サービス部会（部会長：福長尚斉(株)丸福産業代表取締役）、機械金属部会（部会長：田中正明(株)田中製作所代表取締役社長）、製造部会（部会長：小山剛(株)こやま代表取締役）の3部会合同で3月19日に研修会を開催し、25人が参加しました。鴨田市長を講師にお招きし「これからの舞鶴市のまちづくり」をテーマにご講演いただきました。

令和6年度の施策として、3つのまちづくり戦略を中心に話を進められました。1つ目に「希望がもてるまちづくり」として、子供・子育て世帯への支援体制の強化など、2つ目に「安全で安心なまちづくり」として、子供医療費助成制度の拡充や持続可能な医療提供体制の構築、消防防災機能の強化（3/1運用開始の舞鶴防災アプリも紹介）など、3つ目に「魅力あるまちづくり」として、海や港を活かした産業振興や農林水産業のブランド化を目指し地域経済の活性化を推し進めることなどを説明されました。また、事業所の

ニーズ・課題に対し、チームで対応していく「産業振興プラットフォーム」を舞鶴商工会議所、金融機関、様々な産業支援機関と連携し構築していくことや地元企業の魅力を若者に伝える「まいるグッドカンパニー事業」にも引き続き取り組むことを話されました。

参加者からは、「市民のためにあらゆる視点から考えていただいていることがよく分かった」、「貴重な話が聞けて参加して良かった」などの感想があり、舞鶴市の施策について理解を深める貴重な機会となりました。



これからのまちづくりについて考える
(3月19日:まこと)

「メールニュース」配信サービス

～経営に役立つ情報をタイムリーにお届けします～

申し込み
方法

舞鶴商工会議所に電話またはEメールで
配信先のメールアドレスをご連絡ください。

舞鶴商工会議所では、会員限定サービスとして、経営に役立つ様々な事業や施策情報をいち早くお届けする「メールニュース」配信サービスを行っています。

申し込みは無料です。ぜひご登録ください。